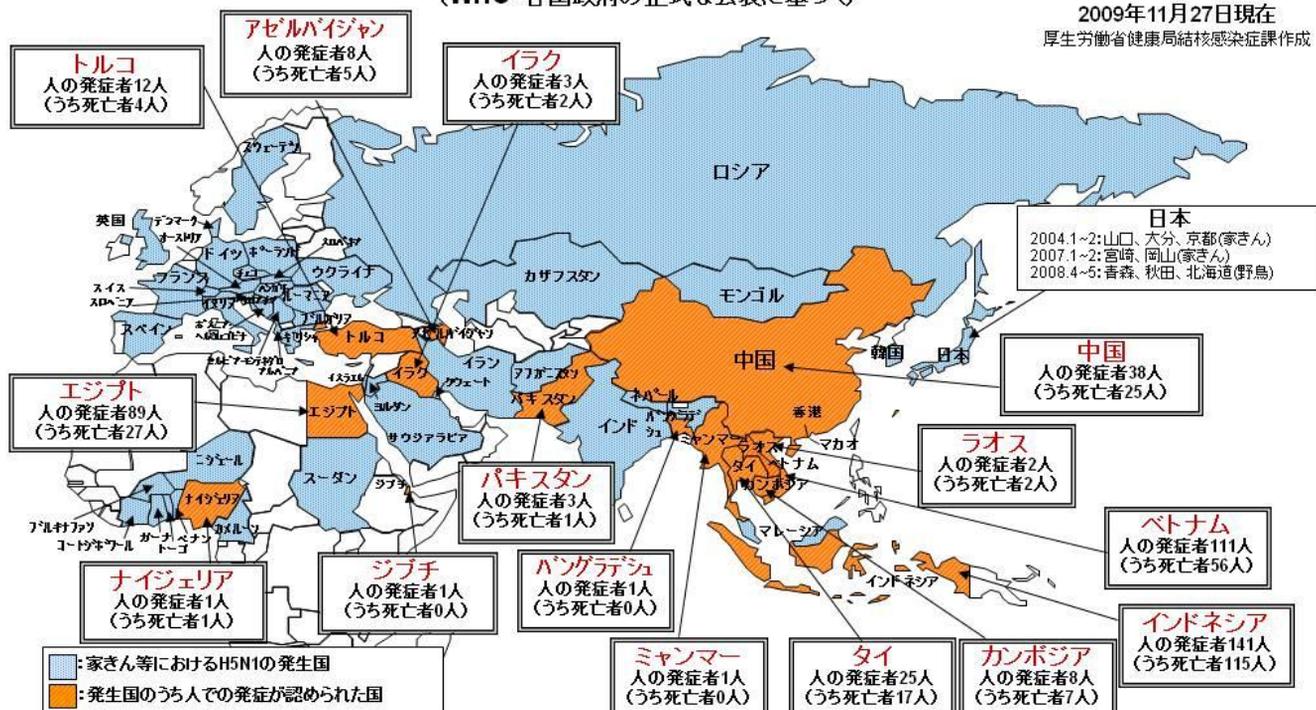


# 鳥インフルエンザの流行について

下記地域で鳥インフルエンザ(H5N1)が確認されています。

鳥インフルエンザ(H5N1) 発生国及び人での発症事例(2003年11月以降)  
(WHO・各国政府の正式な公表に基づく)

2009年11月27日現在  
厚生労働省健康局結核感染症課作成



注1) 上図の他、人への感染事例として  
1997年香港(H5N1 18名感染、6人死亡)  
1999年香港(H9N2 2名感染、死亡なし)  
2003年香港(H5N1 2名感染、1人死亡)  
2003年オランダ(H7N7 89名感染、1人死亡)  
2004年カナダ(H7N3 2名感染、死亡なし)  
2007年英国(H7N2 4名感染、死亡なし)等がある。

注2) 上図のうち、モンゴル、イタリア、ブルガリア、スロベニア、オーストリア、スロバキア、スイス、スウェーデン、ボスニアヘルツェゴビナ、スペインは野鳥からの検出。

参考: WHOの確認している発症者数  
計444人(うち死亡262人)。

出典: WHO・OIEホームページ

## ○鳥インフルエンザ(H5N1)とは？

鳥インフルエンザの中でも、ニワトリ、カモなどが死亡してしまう重篤な症状をきたすものをいいます。

ヒトへの感染は稀ですが、**感染した鳥との密接な接触、と殺等**から、ヒトが感染した事例が報告されています。

## ○予防方法

- (1) 生きた鳥が売られている市場や養鶏場にむやみに近寄らない。
- (2) 弱った鳥や死んだ鳥に触れたりしない。
- (3) 日常的に手洗い、うがい等で清潔を保つようにする。